

# インナー大会プレゼン部門 2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報に記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) ブンキョウガクインダイガク	フリガナ) ケイエイガクブ	フリガナ) マワタリ カズヒロ
文京学院大学	経営学部	馬渡 一浩 ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 動画 (有・無)
フリガナ) タイソレハン	フリガナ) トビタ ヤヨイ	6	無
タイそれ班	飛田 弥生		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール (具体的に使用するツールを明記してください)

## 研究テーマ (発表タイトル)

発達障がい者就職活動支援プロジェクト

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

### 1. 研究概要 (目的・狙いなど)

私たちが就職活動を意識し準備する時期となり、それによって障がい者向けの就職活動サイトも多数あることを知り、障がい者雇用の需要が高まっていることに気が付きました。さらに調べを進めていくと、発達障がいの学生は年々増え続けていることがわかりました。就職活動をする学生として同じ立場から、互いに高め合いながら社会に出たいと思い、この研究を始めました。そこから、就職支援の対応に困る大学の力になり、タイそれ班が大学と発達障がいの学生を手助けし、戦力となる人材を育成します。

### 2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

障がいのある学生に関する調査で、5割を超える大学が就職相談において対応に困った経験があると答えました。また、その障がいの45%を発達障がいがかしているのが現状です。その発達障がい者学生は年々増え続けており、平成24年から平成28年にかけて約2倍になりました。



大学の現状は、国立大学では法律で障がい者支援をすることが義務付けられていますが、私立大学では義務が徹底されていません。そこで、調査によると障がい者学生生活支援を行っている大学は約33%だということがわかりました。しかし、これらは学生生活を支援するものを中心であり、就職に関する支援は少ないということがわかりました。

企業の現状は、平成28年度時点の法定雇用率達成企業は50%をきっており、平成30年4月の法定雇用率引き上げにより、さらに未達成の民間企業が増えることが予想されます。

### 3. 研究テーマの課題

障がい者総合研究所によると障がいのある学生の就職支援において、100%の大学が学生本人の自己理解が課題であると感じており、自己理解を深めることが重要だとわかりました。また、実際の声进行うため、松為信雄様にヒアリングを行ったところ発達障がいのある学生は、1年次から自己理解を深め自身の得意不得意を知る必要があるとのことでした。そこでさらに、本学の児童発達学科伊藤英夫教授にヒアリングを行ったところ、発達障がい学生に対する周囲の理解が足りていないことが問題であり、大学での新しい就職支援が必要とのことでした。

以上のことから、自己理解、周囲の理解、新しい就職支援が不足していることが課題であることがわかりました。

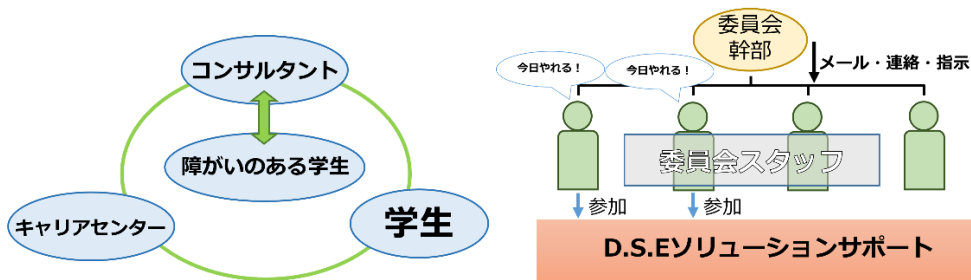
### 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

大学3年間を通じて、3つのプロセスを実践し、人材育成をするプログラム、D.S.Eソリューションを提案いたします。1年次、2年次では自己理解と周囲の理解を重点的に取り組みます。自己理解を深めるためにナビゲーションブックを使用したり、発達障がいの子を持つ保護者、就労支援の職員、企業の方の3者がディスカッションするイベントを開催し周囲理解につなげます。

また、3年次では就職活動支援を行います。自己理解と周囲理解をより深くするため、戦力となる人材を育成するため、学生主体となった委員会を発足いたします。この委員会は大学と学生が連携して活動しており、主に幹部と、業務を遂行する委員会スタッフで構成されています。現在、障がい者支援のための人員が不足していることが問題視されておりますが、そこを学生が補うことで解決されると考えられます。

### 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

取り組みを文京学院大学の工藤秀機学長に提案したところ、「委員会の学生には報酬があってもいい」、「ぜひ本学でも取り組んでいきたい」とのご意見をいただき、提案内容のコンサルティングや職業リハビリテーションに協力していただけるか、障がい者就労支援を専門に活動されているNPO法人様にヒアリングを行ったところ、5つのNPO法人様が賛同してくださいました。以上のことより、実現可能性があるといえます。



## 6. 結果や今後の取り組み

D.S.Eソリューションの実施、委員会を発足いたします。また、大学に特別授業開設依頼、イベントの開催、NPO法人様との打ち合わせを考えております。

## 7. 参考文献

- ・松為信雄：(2013)「発達しょうがい者の雇用にむけた支援者の育成」、(2014)「青年期におけるキャリア発達と就労支援」．日本発達障害学会、(2014)「職業リハビリテーション人材の育成」．日本精神障害者リハビリテーション学会、(2014)「就労支援ネットワークの形成」．日本精神障害者リハビリテーション学会
- ・星野仁彦：(2017)「発達障害に気づかない大人たち」．日本教育会
- ・岩波明：(2015)「発達障害」．南江堂
- ・久永文恵 松為信雄：(2013)「精神科リハビリテーション—挑戦の奇跡」．日本精神障害者リハビリテーション学会
- ・石井重遠：(1997)「デザイン専攻聴覚学生の特例子会社への就職」．筑波技術短期大学
- ・新田真理 芝木智美 水内豊和：(2012)「私立大学における障害者雇用の現状と課題」．とやま発達福祉学年報
- ・田澤実：(2013)「発達障害のある大学生の就職支援」．生涯学習とキャリアデザイン
- ・八木良広 石丸利恵 荻田知則：(2016)「高等教育における発達障害学生へのキャリア支援の試み」．大学教育実践ジャーナル
- ・障害者職業総合センター「大学等における障害・疾患のある学生の就職活動支援」  
<http://www.nivr.jeed.or.jp/download/shiryou/shiryou48.pdf> (2017年3月27日アクセス)
- ・厚生労働省「障害者雇用促進法の改正の概要」  
[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/koyou/shougaihakoyou/shougaiha\\_h25/index.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/shougaihakoyou/shougaiha_h25/index.html) (2017年3月27日アクセス)
- ・厚生労働省「平成28年 障害者雇用状況の集計結果」<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000145259.html> (2017年4月2日アクセス)
- ・厚生労働省「障害者の雇用の促進等に関する法律の一部を改正する法律 条文」  
<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11600000-Shokugyouanteikyoku/0000121388.pdf> (2017年4月3日アクセス)
- ・株式会社 FVP「障がい者雇用用語集」 <http://company.fvp.co.jp/glossary/detail08/> (2017年4月9日アクセス)
- ・富山大学 学生支援センター アクセシビリティ・コミュニケーション支援室 <http://www3.u-toyama.ac.jp/support/communication/total/index.html> (2017年4月11日アクセス)
- ・立教大学 しょうがい学生支援室  
[http://www3.rikkyo.ac.jp/support/campuslife/backup/barrier\\_free/assist/contents/](http://www3.rikkyo.ac.jp/support/campuslife/backup/barrier_free/assist/contents/) (2017年5月4日アクセス)
- ・障がい者総合研究所 [http://www.gp-sri.jp/report/pdf/report\\_019.pdf](http://www.gp-sri.jp/report/pdf/report_019.pdf) (2017年5月4日アクセス)

・法政大学：障がい学生支援室, <https://www.hosei.ac.jp/shienshitsu/08.html> (2017年5月21日アクセス)

・立教大学：しょうがい学生支援

室, [http://www.rikkyo.ac.jp/campuslife/support/barrier\\_free/overivew.html](http://www.rikkyo.ac.jp/campuslife/support/barrier_free/overivew.html) (2017年5月26日アクセス)

・武蔵大学：障害学生支援 [http://www.musashi.ac.jp/seikatsu/soshiki/gakuseishien\\_center/shougai.html](http://www.musashi.ac.jp/seikatsu/soshiki/gakuseishien_center/shougai.html) (2017年6月17日アクセス)

・聖学院大学：オリーブデスク(障害学生支援室) [https://www.seigakuin.jp/life/shien/shien\\_04/](https://www.seigakuin.jp/life/shien/shien_04/) (6月18日アクセス)

・立正大学：障害学生支援室, [http://www.ris.ac.jp/campus\\_life/health/support\\_room/](http://www.ris.ac.jp/campus_life/health/support_room/) (6月21日アクセス)

・中央大学：障害のある学生への支援, [http://www.chuo-u.ac.jp/campuslife/support/disability\\_support/](http://www.chuo-u.ac.jp/campuslife/support/disability_support/) (6月29日アクセス)

・神戸学院大学：障害のある学生への支援について

[http://www.kobegakuin.ac.jp/support/student\\_life/shien.html](http://www.kobegakuin.ac.jp/support/student_life/shien.html) (6月30日アクセス)

・龍谷大学：障がい学生支援, <http://www.ryukoku.ac.jp/support/index.php> (7月12日アクセス)

・札幌学院大学：障がい学生受け入れ及び支援に関する基本方針

<http://www.sgu.ac.jp/campuslife/accessibility/houshin.html> (7月14日アクセス)

・日本学生支援機構「平成28年度大学、短期大学および高等専門学校における障害のある学生への就学支援に関する実態調査結果の概要について」

[http://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu\\_shien/chosa\\_kenkyu/chosa/index.html](http://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu_shien/chosa_kenkyu/chosa/index.html) (7月17日アクセス)

・障害者職業総合センター「大学等における障害・疾患のある学生の就職活動支援

<http://www.nivr.jeed.or.jp/download/shiryoku/shiryoku48.pdf> (7月21日アクセス)

・LITALICO 発達ナビ「発達障害とは？」 <https://h-navi.jp/column/article/category/8>

朝日新聞「発達障害の学生 アシスト」2017年9月18日付朝刊

・障害者職業総合センター「ナビゲーションブックの作成と活用」

<http://www.nivr.jeed.or.jp/center/report/support13.html> (7月21日アクセス)

・文部科学省「文部科学統計要覧(平成28年度版)」

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/002/002b/1368900.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/002/002b/1368900.htm) (8月12日アクセス)

#### <企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会・東京経済大学大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経BPマーケティング社様に作製していただく大会結果HPに本企画シートは掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡します。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HPなどに発表されていない)ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も

同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

---

**↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、提出してください**